

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通会議
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	平成25年11月15日(金) 午後3時～5時00分
開催場所	801会議室(小金井市役所第二庁舎8階)
出席者	<p>[委員(敬称略)]鈴木文彦、橋岡和子、田村恵子、鴨下歌子、池内隆司、青木亮、二井田春喜(代理出席)、佐多謙一、吉田雄一、田中正紀、徳永秀昭、藤崎幸郎(代理出席)、信山重広、影山真季雄、脇坂義祐、東山博文、酒井功二</p> <p>[市事務局]畑野伸二(都市整備部交通対策課長)、府川真之(都市整備部交通対策課交通対策係長)、竹内明(都市整備部交通対策課交通対策係主事)</p>
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ(三木副市長)、委嘱状交付 2 委員の紹介 3 市事務局の紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出 (2) 小金井市コミュニティバスの経過 (3) 小金井市コミュニティバスの路線別状況について (4) C o C oバス・ミニ野川・七軒家循環の乗り残しの状況について (5) C o C oバス新車導入の報告について (6) 平成25年度専門課程地域公共交通研修について (7) その他 <p>[資料]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 小金井市コミュニティバスの経過 (2) コミュニティバス年度別利用者数 (3) コミュニティバス年度別収支表 (4) C o C oバス・ミニ野川・七軒家循環の乗り残し客数 (5) C o C oバス新車の導入について (6) 平成25年度専門課程地域公共交通研修 (7) 小金井市地域公共交通会議設置要綱

	<p>(8) 小金井市地域公共交通会議委員名簿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C o C o バスリーフレット
<p>発言内容・ 発言者名 (主な発言 要旨)</p>	<p>事務局</p> <p>議題(1)「会長・副会長の選出」</p> <p>選出方法 委員による指名推薦</p> <p>選出結果 会長 鈴木 文彦 副会長 青木 亮</p> <p>会長</p> <p>議題(2)「小金井市コミュニティバスの経過」</p> <p>を事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>資料(1)「小金井市コミュニティバスの経過」について説明</p> <p>平成12年度に市内の基礎調査を行い、鉄道駅から遠い、またバス停から遠いところなど交通不便地域の洗い出しを行い、東町、緑町、貫井南町及び前原町の4地区が優先度の高い地域として抽出されました。当時はJR中央線の開かずの踏切で南北の市街地を分断しているような状況でした。</p> <p>平成13年度から事業化を目指した検討が始まり、平成15年3月に北東部循環が運行を開始しました。続いて貫井前原循環と東町循環が平成17年3月に、中町循環が平成17年4月に運行を開始しました。</p> <p>平成20年9月にC o C o バス・ミニが運行を開始し、現在の5ルートになっています</p> <p>その間に北東部循環の運行時間拡大、平成22年度には小金井市コミュニティバス利用者意向調査を行い、要望の多かった東町循環の運行時間拡大の試行を行いました。</p> <p>会長</p> <p>皆様ご意見いかがでしょうか。特に無ければ議題(2)につきましても経過報告ということにさせていただきます。</p> <p>それでは、議題(3)「小金井市コミュニティバスの路線別状況について」を事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>資料(2)「コミュニティバス年度別利用者数」と資料(3)「コミュニティバス年度別収支表」について説明</p> <p>資料(2)をご覧ください。これは各路線の運行開始からの乗客数の変化を表しています。</p>

北東部循環は、平成17年度から1便あたり34.8人と多く現在までほぼこの数字が続いています。平成16年12月には運行時間を拡大して現在は1日42便となり、年間約55万人の方にご利用いただいています。

貫井前原循環はここ2年は増減が無いですが、中町循環はまだ少しずつ利用者は増えています。

東町循環は、利用者数が伸び悩んでいます。

野川・七軒家循環は、積み残しの問題を抱えてはいますが、利用者数は増え続けています。

平成21年3月に武蔵小金井駅南口交通広場がオープンしたこともあり、ここに停車する路線については乗客数が増えてきていると思われま

次に資料(3)をご覧ください。これは各路線の運行開始からの収支状況を表したものです。

北東部循環については、平成24年度も黒字になっています。

貫井前原循環については、赤字額が年々減ってきています。

中町循環と東町循環については、横ばいです。

野川・七軒家循環についても毎年少しずつですが赤字が解消されてきています。

合計で見えていくと、ここ3年は収支は横ばいというところ

会長

皆様ご意見いかがでしょうか。

委員 A

コミュニティバスですので、もともと儲けることを前提にしているわけでは無いとおもいますが、ここ3年2000万円くらいの赤字で、市としては予算規模その他を考えると許容の範囲ということではよろしいのでしょうか。

事務局

市は厳しい財政状況ですので、できれば減らしていきたいと考えています。

委員 B

西東京市のはなバスは経費を抑えるため、最近150円と運賃を増額したと聞いています。今後消費税も上がるなかで、運賃の問題も100円でいいのかということと運行ルートや運行時間もこのままでいいのかという話がでてくると思う。コミュニティバスも何のためにあるのかとそのコンセプトをもう1回考えてみた方がいいのではないか。コミュニティバスが通ること

るのではないか。路線バスとコミュニティバスの住み分け、それとタクシー、また最近マナーの悪い自転車と歩行者との事故も増えているなかで、この会議で公共交通全体について話をしていけたらと思います。

委員 A

東町循環について、1日あたりの利用者が200人ちょっとというところで野川・七軒家循環よりも乗客数が少なくなっているが、地元の自治会や住民から東町循環に対する要望とかはでていないのでしょうか。

事務局

平成22年度に行った意向調査では、東町1丁目や東町5丁目など連雀通りの南側部分に通して欲しいという要望もあったが、道が狭い事もあり実現していません。

委員 A

廃止して欲しいという要望はないのですね。他の路線と比べて成績が悪いので次のルート再編の時には、存廃も含めて考えた方がいいのではないか。または、地元自治会の協力を得て乗客を増やすとか考えた方がいいと思います。

会長

C o C oバスのルート別の実績を見ると成績が極端なところがある。北東部循環は1日あたりの利用者が1500人を超えていて、コミュニティバスとしては、都内でも数えるくらいしかないくらいの実績です。東町循環そして中町循環についてはその実績の少なさから考えると、今後考えていくことが必要かなと思います。

会長

ここ数年をみると、各路線の利用者数は定着してきている。ただ高いところで定着している路線と低いところで定着している路線があるので、この点を踏まえて今後検討をしていきたいと思います。

他に発言が無ければ次に、議題(4)「C o C oバス・ミニ野川・七軒家循環の乗り残しの状況」について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料(4)「C o C oバス・ミニ野川・七軒家循環の乗り残しの状況」について説明

これらのグラフは野川・七軒家循環の乗り残し客数について、平成21年4月から平成25年9月までを年度別に示したもの

です。乗り残しの客数というのは、バスに乗ろうとしてバス停で待っていたけど、満車で乗れなかったお客様の人数です。C o C oバス・ミニはハイエースタイプで10人乗りと小さいため発生しています。

平成25年度分については、半年間で385人ですので1年間で800人弱になるペースです。去年より少し減るペースです。

時間帯別乗り残し客数は、午前9時5分から11時35分は特に多くなっています。12時35分から夕方までピークはありませんが、平均的に積み残しが発生しています。

停留所別乗り残し客数は、今年も武蔵小金井駅は多いですが過去2年と比べると少なくなっています。6番七軒家通りバス停から13番車屋坂下バス停まで、9番中前橋バス停をピークとした状況になっています。

月別乗り残し客数は、4月が多くなっています。

会長

この野川・七軒家循環の乗り残しについては、以前から問題となっているところですが、なかなか解決策が見つからないところです。地理的に崖をはさんでいますのでニーズはある。道が狭いため10人乗りのミニバスなので収入には限りがあり収支的には難しいところがある。ジレンマを抱えているところですが、何かご意見等ありましたらお願いします。

委員 C

武蔵小金井駅南口バス停の乗り残し客数ですが、実際はもっと多いのではないかと。10人待っていれば皆あきらめてしまうと思います。

会長

おそらく事情を知っている人であれば、何人並んでいるかを数えてもう乗れないなと思って並ばないと思います。途中のバス停なら何人乗れるか分からないから取りあえず並ぶということもあるが、武蔵小金井駅南口バス停は始発でもあるので、乗れる人数が分かってしまう。やはり実際は乗り残し人数はもっと多いとみていいと思います。事務局としてはいかがですか。

事務局

事務局としてもその傾向はあると思っています。

委員 A

武蔵小金井駅に戻ってくるバスに何人乗っているかというデータはあるでしょうか。それがあれば、運行ルートや停留所をどうしたらいいかの考えの助けになるとと思います。

委員 D

以前、5番バス停天神橋で乗ろうとしたら満員で乗れなくて、9番バス停中前橋まで走ったら空いていて乗れたことがあります。

会長

武蔵小金井駅南口バス停を出発してから戻ってくるまでの、停留所間で何人乗っているかのデータを取ると見えてくることもあるのではないかと思います。

事務局

そのようなデータを作りたいと思います。

会長

今後もしろいろなデータを見て判断していきたいと思います。次に、議題(5)「C o C oバス新車導入の報告」について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料(5)「C o C oバス新車の導入」についてを説明

この10月に、10年を経過したC o C oバス3両を新型に代替えました。主な相違点としては、使用燃料がC N Gからディーゼルになりました。バスの外形寸法は同じです。旧型は2ステップでしたが、新型はノンステップになり高齢者や小さいお子様も乗降し易くなりました。

現在、北東部循環を中心に中町循環と東町循環を運行しています。

会長

現在このタイプのバスは1社しか製造していないため、他に選択肢が無い中で、どこに行ってもこの新車両になってきているという事情があります。

何かご質問等ありますか。運行会社さんはいかがですか。

委員 E

当社としては、もう少しお客様が乗れる、もう少し小回りのきくものが良いと思いますが、選択肢が無い中で、この車両でやりくりをしていきたいと思います。

会長

他にご意見等無ければ、新車については報告ということにしたいと思います。

次に、議題(6)「平成25年度専門課程地域公共交通研修」について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料(6)「平成25年度専門課程地域公共交通研修」を説明

平成25年度専門課程地域公共交通研修に参加したので簡単に報告いたします。この研修は国土交通省が主催しているもので、地方運輸局、都道府県、市町村等に勤務するもので、地域公共交通関係を担当している職員のための研修です。目的としては、地域公共交通関連業務に従事する職員に対して業務上必要な知識を習得させ事務能力の向上及び業務の円滑な遂行を図るとしています。

沖縄から北海道までの約45名の研修生が集まり、千葉県柏市の国土交通大学校柏研修センターで5日間行われました。

日本全国で活躍されている国土交通省の職員、大学の先生、バス会社の社長等の経験豊富な方々から地域公共交通に対する取り組み方等の講義を受けました。地域公共交通においては、行政、運行事業者、地域及び利用者の協力体制が大事とのことでした。

研修生もその地域の公共交通の問題点について発表し、意見交換をしました。私もC○C○バス・ミニの事を中心に発表し、いろいろな方の意見をいただきました。その中では、ワンコインで安い、きめ細かい路線網、運転間隔が短く、便数が多い、ダイヤが分かり易い、積み残しができるほど利用者が多い等の意見が多かったです。

今後は、この研修での経験を活かしていきたいと思います。

会長

地方のバスでは、利用者が少なく苦勞しているところもあるなかで、C○C○バス・ミニのような積み残しがあるというのは、他地域から見るとうらやましい問題ということでもあります。しかし、小金井市では見過ごせない問題ではありますのでなんとか解決していかないといけないということになると思います。

会長

他に意見が無ければ、予定した議題は終わりましたがその他ということで何かご意見・ご質問等ありませんか。

委員 F

今度消費税が上がりますが、C○C○バスとしては料金を上げるとかは、考えないのですか。

事務局

消費税が上がることにより、収入減が見込まれるところですが、今のところ100円というワンコインでいきたいと考えています。

	<p>委員 G 車内広告で収入を得るといのはどうでしょうか。</p> <p>事務局 現在は、広告は行政からのお知らせのみとしていて有料広告は扱っていません。それでも利用率が高く、空きが少ないのが現状です。</p> <p>会長 他にご意見はございませんか。皆さん、事務局の方から特になければ、これで平成25年度第1回小金井市地域公共交通会議を終了させていただきます。 本日はお忙しい中、ご参加いただき、大変ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以下余白</p>
そ の 他	